

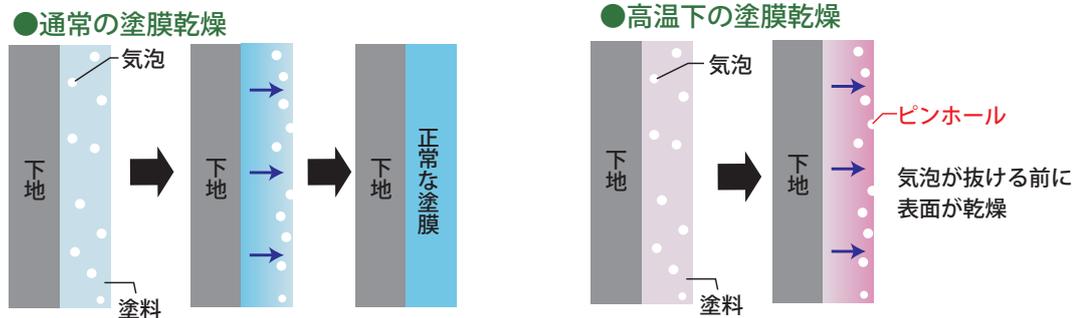
外装塗装における 高温時の注意点

“なぜ不具合がおこるの？”

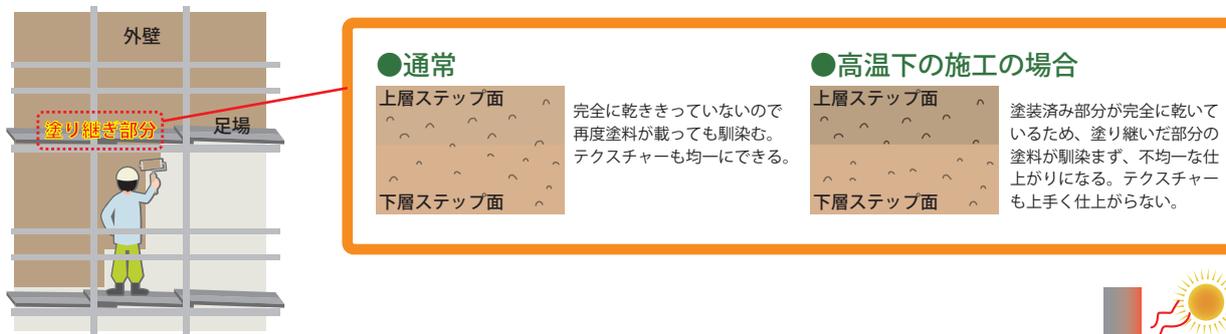


高温下での施工ではこんなことが起こります。

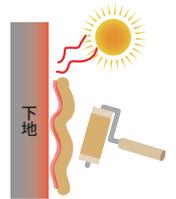
- ①溶媒の蒸発が速いため、塗膜内の気泡が抜ける前に表面が乾燥し、塗膜に気泡が多く残ります。



- ②塗膜表面の乾燥が早く、塗り継ぎ部分がムラになりやすい。



- ③下地が高温になっていると密着不良による浮き・膨れ・剥がれが発生しやすい。



- ④塗料缶の中でも表面が乾燥し、皮張り（塗料表面層の塗料の膜）が発生する可能性があります。



不具合を起こさないために・・・

- ①下地・塗膜表面の急激な温度上昇を防ぎましょう。



- ・足場のメッシュシート養生を作業1日前に実施する。
- ・直射日光の当たらない面から施工する。（太陽の位置により施工面を選択する）



足場のメッシュシート

- ②塗料缶の保管に気を付けましょう。



- ・直射日光が当たらないように日陰に保管。もしくは遮光シートを被せる。
- ・開封済みの缶は、定期的に再攪拌する。



遮光シートを被せた塗料缶